

今年もマツダロードスターでST4クラスに参戦します。86を筆頭にホンダ勢、フィアットなどバラエティーに富む20台以上がエントリーの激戦区になりました。今回は昨年同様の村上、脇谷に富士のN1ロードスターチャンピオンの雨宮を加えた3名で挑戦します。



3月27日金曜日 公式練習 1枠目は村上がコースインしマシンの最終チェックして脇谷に交代して久しぶりのサーキットを思い出していきます。なかなかタイムが伸びずクラス16位。2枠目も同様にタイムが落ちていくのでマシンを確認するとエンジンに少し圧縮落ちが確認出来たので3枠目はキャンセルしてメカ達が修復作業してくれました。

3月28日土曜日 公式予選日 朝一のウォームアップ走行でマシンの状況も問題なし。ベストが2分13秒119でクラス12位のタイムでチーム同一安心。そしてお昼からは決勝のグリッドを決める予選タイムアタックです。

まずはAドライバーの村上から。クリアを確保するために10分コースインを遅らせてコースイン。1アタックのみと決めてアウトラップから1周目でアタック開始。2周目に2分11秒320でクラス11位。Bドライバーの雨宮選手は2分12秒639でクラス13位でA、Bドライバーの合算タイムで争うグリッドはクラス13位になりました。



3月29日日曜日 決勝 朝一のウォーミングアップ走行でドライバーチェンジの最終確認してお昼から決勝になります。スタートドライバーはAドライバーの村上が努めます。12時19分にローリングスタートからグリーンシグナルで5時間耐久スタート。スタートして1、2コーナーで前の車両の接触で行くところが無くて後続にパスされてしまいますが長いレースなので冷静に走り予定通りに80分のスティントで脇谷に交代。脇谷は昨年の経験を生かして冷静な走り順調にスティントをこなして雨宮選手に交代。なかなかペースが上がらないので

がどうもブレーキのフィーリングが悪い様子。予定より少し早くラスト90分で村上にドライバー交代してコースイン。数周走ったところでブレーキが奥まで入る違和感を感じ残り1時間あるので少し抑えながらブレーキングしますが症状はどんどん悪化してどうにも対応しきれなくなり緊急ピットイン。メカ達がすぐに対処してくれましたがトラブルの爪痕は確実にタイムを奪い我慢のレース展開。チーフメカの国松も「まずは完走しますのでペース落として」ということでペースを抑えながら5時間の耐久レース無念のクラス16位で完走。

ドライバーコメント

Aドライバー 村上選手 予選では速さを見せられたのですが決勝当日の体調が悪いのを我慢してチームに迷惑掛けて申し訳なかったです。

次戦では必ず今回の悔しさをバネに入賞を目指します。

Bドライバー 雨宮選手 久しぶりのスーパー耐久でしたが思った様にタイムを出せずに苦戦しました。決勝はマシントラブルで残念でしたが次戦は必ず頑張ります。

Cドライバー 脇谷選手 予選はクリアがうまく取れず残念でした。決勝はマシントラブルは残念でしたが個人的には速いマシンを上手かわしながら練習通りに走れました。

総括 チームオーナー村上

今年から国松チーフメカを迎えて新しい体制でスタートということで色々な面で変化があることを予想して戸惑いもありましたが今回のレースを通じてチームとしての方向性が見え、現状のマシンを含めたチーム力も解りました。昨年は雨でブレーキパッドのデータが乏しかったので今回は本当に残念でしたがコーナリングマシンのロードスターには苦手なコースで予選のタイムは次戦の菅生ラウンドにはすごくチャンスがあると信じてます。チーム一丸となりベストを尽くして走らせていきますので応援並びにサポートよろしくお願いします。

